

別紙：目次

刊行に寄せて

バーチャルハリウッド協議会会長

(富士ゼロックス株式会社取締役専務執行役員) 真茅久則

序文 はじめに

## 第1章 日本企業が抱えている課題

- 失われた30年
- 不幸な日本の社員
- 社員の価値観の変化と企業に求められるもの

## 第2章 V Hのコンセプト、V Hによって変わる企業

- 1 ハリウッドの映画作りをイメージしたV Hの仕組み
- 2 V Hが生まれた背景
- 3 V H活動の意義は新たな価値創造・人材育成・組織活性化
- 4 中長期的な効果に期待して導入・継続
- 5 V H活動に特徴的な「仕掛け」

## 第3章 V Hによって変わるもの

- 1 日本企業が再び飛躍するためのヒント
- 2 社員の人材育成における変化
- 3 組織の変化
- 4 活動による価値創出
- 5 新しい働き方への変化

## 第4章 各社の活動事例

- ウインドサーフィン・ワールドカップの日本誘致【ANA①】
- ANAブランドのカフェ【ANA②】
- 「いけばな」の縦割り組織にもボトムアップのV H活動を導入できた【草月流】
- 風土改革、そして地域創生や地域との人脈づくり【トクヤマ】
- 廃棄される横断幕やタイヤを商品に、道路もモノも「循環」させる【首都高速道路】
- Jリーグのスタジアムで小学生サッカー大会。親子の笑顔に苦労も吹き飛ばす【三菱重工業・三菱日立パワーシステムズ】
- 5年の下準備、機を捉えて「CACチャレンジ」導入【CAC】
- スキマ時間をうまく使いたい！思いをかたちに「個人用の空間」をビジネスへ【富士ゼロックス①】
- モノづくりからコトづくりへ、日本一美しい街に日本一美しいシェアオフィスを【富士ゼロックス②】
- 企業の目的によって変わる多種多様なV H
  - ・エクサ
  - ・ウチダ人材開発センタ
  - ・旭化成

以下次葉

## 第5章 インタビュー・VHの未来、ニッポンの未来

### ○経営が期待するバーチャルハリウッド

社員にとって会社が誇りであるように

インタビュー① トクヤマ 代表取締役社長執行役員 横田浩

- 「サイロ化」した組織
- 自分たちの強みにこだわらない
- 車内の縦横のコミュニケーションを活発に
- 外に開かれた会社へ
- 自由な場の提供が創造性を育む
- 地域との共生の場に

インタビュー② ANA代表取締役副社長・執行役員 志岐隆史

- ダイバーシティ&インクルージョン
- 多くのテーマに関わって
- ウインドサーフィンのワールドカップを日本に誘致
- ANAカフェ
- 面白がれれば転がっていく

VHは社会価値イノベーションのベースとなる問題提起力を獲得できる

インタビュー③ 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 村上恭一特任教授

- 時間を無駄にしたくない若者たちに無駄な仕事を押しつける企業
- 知識が生まれるのは古今東西、遊んでいるときや人と協調しているとき
- 個人化の時代にこそ、チームで動く仕組みが活きる

特別寄稿

これからの企業と人材育成、VHの価値

慶應義塾大学名誉教授 花田光世

VH協議会について

おわりに

以上